

不審電話に関する事例

案件①

平成24年5月17日12時30分頃、佐賀市の被保険（後期高齢）者宅に「役場から来た」と男性（年齢不詳）が訪問。男性は、被保険者宅の電話番号を聞き取った後、自身の携帯電話に登録した。また、「口座番号を確認したい」と言われたことから通帳を差し出し、「通帳の預金残額等を確認してまた来る」と言って帰った。口座の暗証番号は教えておらず、男性は口座番号を控えたりはしなかったとのこと。

当時、自宅には被保険者しかおらず、毎日食事の世話に来ている娘が不審に思い、市へ連絡し事件が発覚した。

保険料の滞納等はなく、市から訪問することはないと説明し、御家族から警察へ連絡するよう促した。

案件②

平成24年6月7日（木）、佐賀市在住の被保険者（女性）宅に、男性（氏名不明）から「高額療養費を振り込んだので確認をお願いしたい。高額療養費の決定通知書の指定口座は佐賀銀行である。」

との電話があった。

被保険者が「佐賀銀行のカードは持っていない」と答えたところ、男性から「郵便局のカードでも確認できる」と言われたとのこと。また、相手先の電話番号[0120-〇〇-△△△△]を告げられる。

その後、被保険者が佐賀市内の郵便局へ行き相手の指示通りにATMを操作し、暗証番号を忘れたため郵便局員に問い合わせたところ、職員が不審に思い操作を中断した。

郵便局職員から広域連合に報告があり事案が判明。郵便局側から警察への通報を検討されているとのこと。

案件③

平成24年6月7日(木)午前10時半ごろ、佐賀市在住の被保険者(男性)宅に佐賀市役所保険課のサカモトと名乗る男から、「高額療養費の還付金が49,487円あるため、振込先を教えてください。本日中に手続きをしないと払い戻しの権限が市役所から社会保険事務所へ移ってしまうため、早く手続きを行いたい。いったん電話を切って、フリーダイヤル[0120-〇〇-△△△△]へ電話し、お客様番号を伝えてくれ。」と電話があった。

妻が対応しフリーダイヤルに電話したところ、サイトウと名乗る

男が出て「カードを使っている口座の振込先を教えてください。」と言われ、銀行の口座・暗証番号を伝えた。サイトウから市内某ショッピングセンターのATMでの操作を促されたが、別のスーパーで行いたい旨伝えたところ、対応が荒々しくなったとのこと。

その対応の仕方を不審に思い、市役所等へ問い合わせをしたところ、事案が判明した。

市では、口座番号を伝えていることから、悪用をされる可能性もあるため、警察へ相談するよう案内した。また、市役所の職員が、電話でATMへ誘導し操作を指示するようなことは行わない旨伝え、同様の電話があった場合は、まず市役所に問い合わせるよう注意を促した。

案件④

平成24年6月12日と13日の二日にわたり、唐津市内の被保険者(女性)宅に「年金か医療費(どちらかは不明)の払い戻しがある。唐津市内の金融機関であれば振り込みができるので口座番号を教えてください。」との電話があったとのこと。その場では、口座番号を伝えていない。

被保険者の娘が市役所へ口座番号を書いたメモを持参され、「払

い戻しがあると電話があったので持ってきた。」と相談があり、本事案が判明した。

- ・ 年金事務所に還付金を確認し、該当なし。
- ・ 高額医療費、介護保険等の還付金を確認し、該当なし。
- ・ 被保険者の夫が重度障害医療費助成を受けているため口座登録の状況を確認したところ、登録済み。

上記3点について確認し、市役所等から電話で口座番号の確認をすることはないことを娘に説明。内容から振り込め詐欺の疑いがあるため、再度電話があっても、相手方の指示に従わないように伝えた。

また、管内に防災無線で注意喚起を求めた。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）